

施策実施状況の評価（平成27年度）

【施策3】 コミュニティバス導入スキームの運用

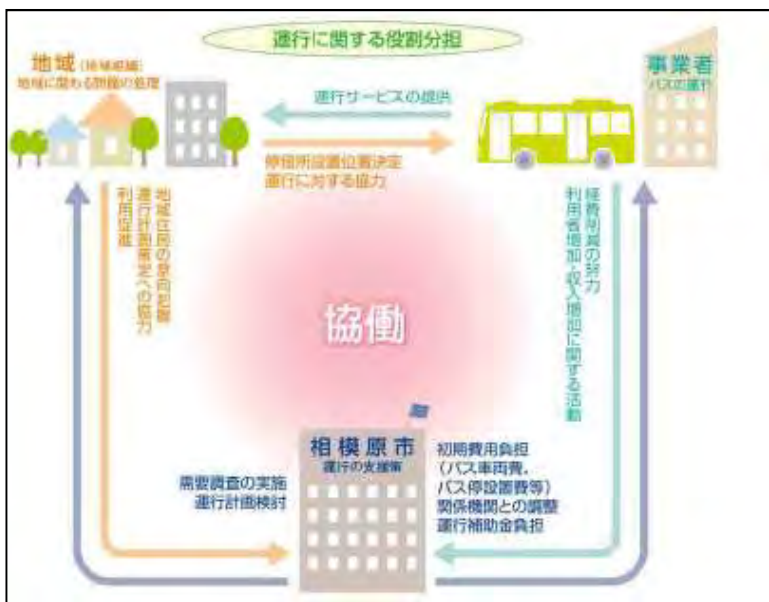
【施策3】 コミュニティ バス導入 スキーム の運用	実施状況の 検証	指標	運用・検討箇所数
		実施状況	3地区
	モニタリング 指標の変化	指標	運行路線利用者数
		基準値	
		実績値	運用・検討箇所：3地区 ・大沢地区：97,740人（対前年4,728人増） ・大野北地区：66,397人（対前年10,471人増） ・大野南地区：検討のみ 延べ利用者164,137人（対前年15,199人増）
	評価	運行中の2路線において、地域が主体となり利用促進に取り組むことで利用者数が大幅に増加しており、交通不便地区の移動手段の確保や地域コミュニティの活性化に大きく寄与したと認められるが、大野北地区が本格運行に至っていないことから、さらなる利用促進に取り組むこと。	

【施策3】 コミュニティバス導入スキームの運用 参考資料

コミュニティバス導入の手引き(平成19年策定)



三者協働の仕組み



コミュニティバス
せせらぎ号運行経路
(平成18年1月30日
運行開始)

大野北地区
コミュニティバス運行経路
(平成26年2月1日運行開始)



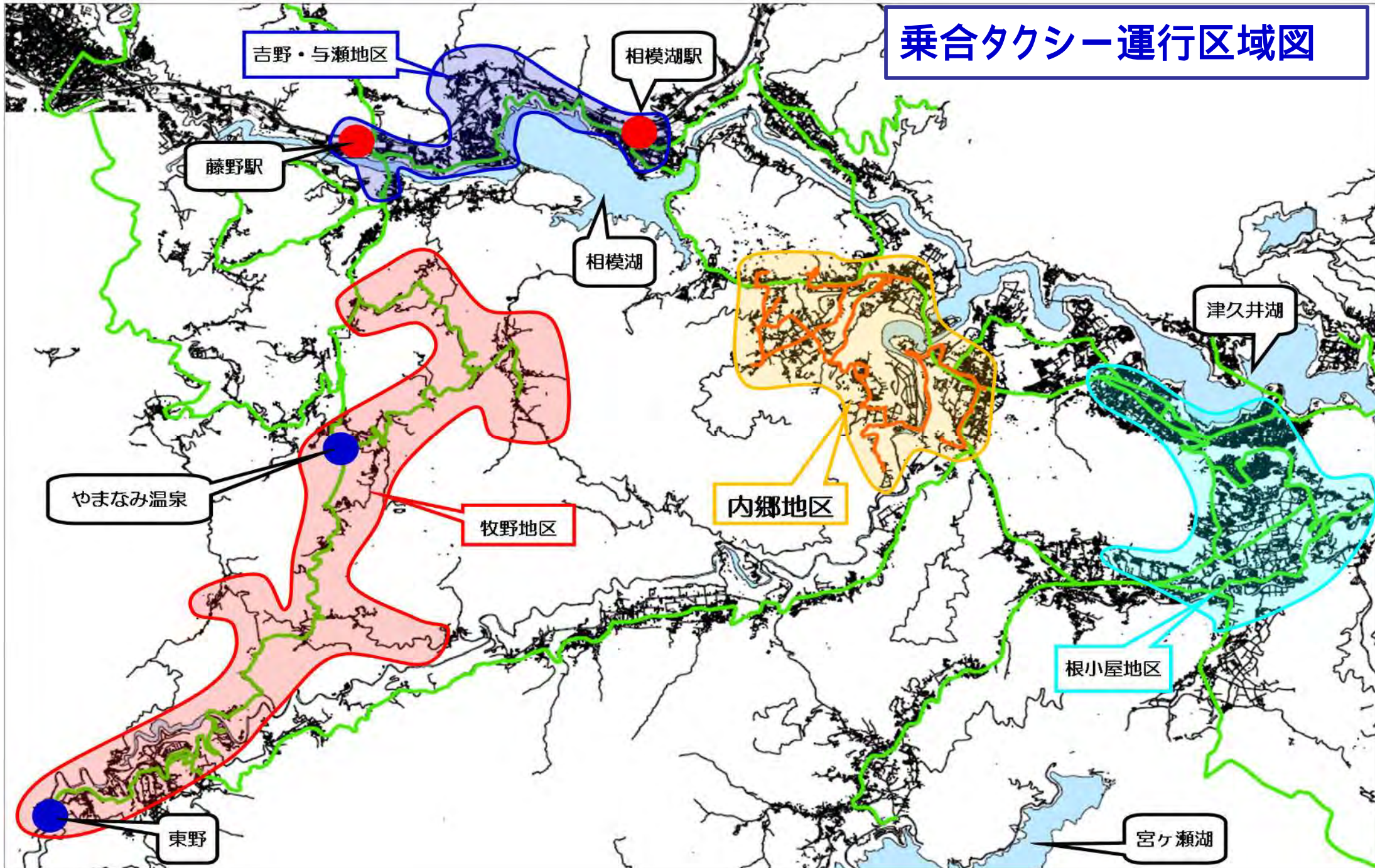
【施策4】 乗合タクシー導入スキームの運用

【施策4】 乗合タクシー 導入スキームの運用	実施状況の 検証	指標	運用・検討箇所数
		実施状況	4地区
	モニタリング 指標の変化	指標	運行路線利用者数
		基準値	
		実績値	運用検討箇所:4地区
			<ul style="list-style-type: none"> ・内郷地区:4,026人(対前年396人増) ・根小屋地区:8,215人(対前年140人減) ・吉野・与瀬地区:2,647人(H26下半期971人) ・牧野地区:1,600人(H26下半期646人) 延べ利用者16,488人
	評価	運行中の4地区において、地域を中心に利用促進に取り組み、利用者数の増加や地域コミュニティの活性化に寄与したと認められるが、根小屋地区の利用者が減少していることや牧野地区が本格運行に至っていないことから、地域と連携し、さらなる利用促進に取り組むこと。	

吉野・与瀬地区、牧野地区については、H26.10.1から運行を開始しているため前年度は半年間のみの利用者数

【施策4】 乗合タクシー導入スキームの運用 参考資料

乗合タクシー運行区域図



【施策7】 TDM(交通需要マネジメント)の推進

【施策7】 TDMの推進	実施状況の 検証	指標	実施施策数
		実施状況	実施施策数：1件(橋本地区TDM)
	モニタリング 指標の変化	指標	施策を実施した路線の混雑時所要時間 (三ヶ木～橋本駅北口間)
		基準値	54分
		実績値	42分 (対前年9分減)
	評価	<p>平成24年4月の「橋本地区TDM推進計画」策定から、継続して各施策の推進に取り組むことにより、橋本地区周辺道路の混雑緩和が図られ、指標路線の所要時間の短縮に寄与したと認められる。</p> <p>今後は、総合都市交通計画に掲げるTDM施策候補地である「相模大野駅周辺」「麻溝台地区」等、他地区への新たな施策の展開を期待する。</p>	

【施策7】TDMの推進 参考資料

橋本地区TDM推進計画 (平成24年4月策定)

橋本駅南口から国道16号にかけて、通勤・通学者の送迎や右左折車を原因とする渋滞が断続的に発生していたことから、市民の代表、専門家や関係者等で構成する「橋本地区TDM推進委員会」を設置し、交通社会実験等の結果を踏まえ、検討を重ね、策定された。



駅前広場のレイアウト変更や違法駐車取締強化など全19施策で構成

【橋本地区TDM推進計画の主な効果検証結果について（H28.3月）】 自動車交通量（駅周辺4交差点の16時間の平均交通量）

H23 約13,462台 H26 約10,866台 **平均2,596台の減少**

・・・南口周辺の交通量、路上駐停車台数、駅方向への滞留長・渋滞長が減少。

駅周辺路上駐停車状況（駅周辺の路上駐停車台数）

H23 2,303台 H26 1,330台 **973台の減少**

・・・マイカー送迎者の適正利用が促進された

路線バス所要時間調査（緑区合同庁舎前～橋本駅南口の往復所要時間）

* 駅方向 H23 3.51分 H26 3.24分 **27秒減少**

* 緑区合庁方向 H23 3.60分 H26 4.28分 **32秒増加**

・・・駅方向は時間が減少したが、緑区合庁方向は時間が増加した。

橋本駅に接着する路線バスの年間輸送人員

* 南口 H23 3,767,536人 H26 3,834,111人 **66,575人の増加**

* 北口 H23 6,809,983人 H26 7,034,844人 **224,861人の増加**

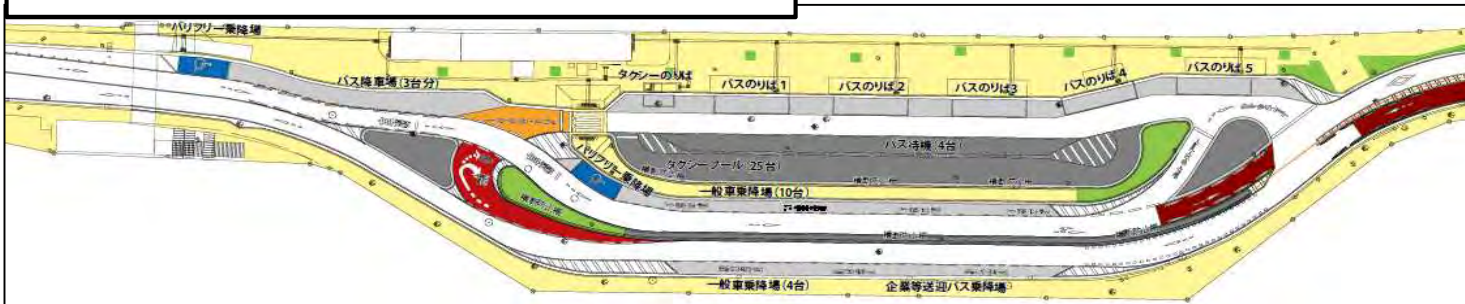
・・・公共交通への利用転換が図られた

【写真】橋本駅南口駅前広場での啓発活動

・平成27年6月11日、相模原北警察署との連携により実施



橋本駅南口駅前広場の改良



【バス】乗場：5箇所 降車場：3台分(2増) 待機場所：4台分(3増)

【タクシー】乗場：1箇所 待機場所：25台(9増) 【一般車】乗降場：14台(9増) 【企業バス】乗降場：3台(新設)

【施策29】 マイカーからの転換促進

【施策29】 マイカーからの 転換促進	実施状況の 検証	指標	TDMの実施の有無
		実施状況	橋本地区TDM推進計画を実施した
	モニタリング 指標の変化	指標	マイカーからの転換率 (MM対象者へのヒアリング)
		基準値	実施時に調査
		実績値	H27年10月7・19日 橋本駅南口に おいて、マイカー送迎車に対する アンケートを実施 車利用を控えようと思う人:35.6%
	評価	TDMの効果測定では、橋本駅南口周辺の交通量の減少 や路上駐車台数の減少が見られるとともに、橋本駅を発着 する路線バスの年間乗降人数は、平成23年度からに対して 平成26年度では、南口で約6万7千人、北口で約22万5千人 の増加となり、マイカーからの転換促進に寄与していると認 められるため、引き続き、TDM施策等の実施によるマイカー からの利用転換に取り組むこと。	

【施策19】 ターミナル施設の整備

【施策19】 ターミナル 施設の整備	実施状況の 検証	指標	施設の新設・改良箇所数
		実施状況	新設・改良箇所なし
	モニタリング 指標の変化	指標	バスターミナル施設(10箇所)利用者数
		基準値	60,401人/日
		実績値	73,247人/日(対前年2,538人増)
	評価	<p>平成25年度に、橋本駅南口駅前広場の改良及び田名バスターミナルの新設に着手し、バス利用環境の向上が図られた。</p> <p>これに伴い、全ターミナルにおけるバス利用者数も平成24年から12,846人増加しており、大きくバス利用の促進に寄与したと認められる。</p> <p>施設等ハード面の整備には、十分な検討とともに、多額の費用が必要となるが、引き続きバス利用環境の向上のため、ターミナル施設のバリアフリー化等の利用環境整備の検討を期待する。</p>	

モニタリング指標の基準値については、計画策定当時、71,500人/日を設定していたが、IC技術の導入や中乗り前降り方式の実施等の状況変化により、乗降人員集計方法が当時と現在では異なり、誤差が生じるため、平成24年度のターミナル乗降人員60,401人/日を基準とした。

【施策19】 ターミナル施設の整備 参考資料

相模湖駅	利用者数	備考
平成26年度	1,104人	4月第3木曜日
平成27年度	1,102人	(H26.4.17、H27.4.16)
三ヶ木	利用者数	備考
平成26年度	2,444人	4月第3木曜日
平成27年度	2,394人	(H26.4.17、H27.4.16)
橋本駅	利用者数	備考
平成26年度	23,726人	4月第3木曜日
平成27年度	25,401人	(H26.4.17、H27.4.16)
相模原駅	利用者数	備考
平成26年度	10,235人	4月第3木曜日
平成27年度	10,509人	(H26.4.17、H27.4.16)
淵野辺駅	利用者数	備考
平成26年度	6,660人	4月第3木曜日
平成27年度	6,735人	(H26.4.17、H27.4.16)
上溝駅	利用者数	備考
平成26年度	1,475人	4月第3木曜日
平成27年度	1,618人	(H26.4.17、H27.4.16)
田名バスターミナル	利用者数	備考
平成26年度	2,375人	4月第3木曜日
平成27年度	2,546人	(H26.4.17、H27.4.16)
北里大学病院・北里大学	利用者数	備考
平成26年度	5,267人	4月第3木曜日
平成27年度	5,178人	(H26.4.17、H27.4.16)
相模大野駅	利用者数	備考
平成26年度	15,187人	4月第3木曜日
平成27年度	15,430人	(H26.4.17、H27.4.16)
小田急相模原駅	利用者数	備考
平成26年度	2,236人	4月第3木曜日
平成27年度	2,334人	(H26.4.17、H27.4.16)
全ターミナル計	利用者数	備考
平成26年度	70,709人	4月第3木曜日
平成27年度	73,247人	(H26.4.17、H27.4.16)

平成26,27年度の 各ターミナルの乗降人員/日

全ターミナルの乗降人員は、昨年度に比べ2,538人増加している。

特に、平成26年4月から供用を開始した田名バスターミナルは、従前の上田名バス停の25年度乗降人員が571人だったのに対し、27年度は2,546人となり、約446%増の伸び率となっている。

【施策11】 ターミナル等での乗り継ぎの円滑化

【施策11】 ターミナル等 での乗り継ぎ の円滑化	実施状況の 検証	指標	施設の新設・改良箇所数
		実施状況	新設・改良箇所なし 運行情報提供設備導入：相模原駅
	モニタリング 指標の変化	指標	運行情報提供設備導入率 (導入箇所数/設置候補箇所数)
		基準値	0.0%
		実績値	21.4% (3箇所/14箇所) 実施箇所：田名BT、相模大野駅、相模原駅
	評価	<p>平成27年度は、新たに相模原駅に運行情報案内表示機が1基導入され、モニタリング指標である設備導入率が、21.4%に上昇した。</p> <p>引き続き他の候補箇所への設備導入を推進し、ターミナルにおける乗継ぎの円滑化に努めること。</p>	

【施策11】 ターミナル等での乗り継ぎの円滑化 参考資料

【画面イメージ】

相模原駅 バス運行情報案内表示機(H28.3月設置)

バス運行情報案内表示機は、神奈中バスロケーションシステム()を活用し、各乗り場発車時刻等の詳細情報をリアルタイムに表示するもの

時刻 Dep. Time	乗場 Bus Stop	系統 Route	行き先 Destination	経由地 Major Stop	バス 情報	時刻 Dep. Time	乗場 Bus Stop	系統 Route	行き先 Destination	経由地 Major Stop	バス 情報
19:53	2	相25	相模大野駅	ホール・北里ブ	定期通り	20:10	3	相55	橋本駅北口	三菱電機前	
19:55	7	相31	峡の原車庫	大河原	定期通り	20:12	6	相14	上溝	横山団地	
20:00	2	相29	北里大学病	光が丘三丁目		20:15	7	相31	峡の原車庫	大河原	
20:00	北1	相52	橋本駅北口	宮下	定期通り	20:20	1	相05	相模大野駅	ホール・大	
20:00	5	相17	水郷田名	田名バスターミ	定期通り	20:20	2	相28	麻溝車庫	光が丘三丁	
20:00	4	相02	相模大野駅	輪野森		20:20	4	相02	相模大野駅	輪野森	
20:00	6	相12	上溝	市役所前	定期通り	20:24	6	相12	上溝	市役所前	
20:05	2	相28	麻溝車庫	光が丘三丁目		20:25	5	相17	水郷田名	田名バスター	
20:10	8	相36	下九沢団地	昭和電線前		20:30	3	相55	橋本駅北口	三菱電機前	
20:10	2	相25	相模大野駅	ホール・北里ブ		20:30	2	相25	相模大野駅	ホール・北	

※ 黄色で表示されている種は、予定時刻に発車できない可能性があります。
 3月28日(月)19:50 お知らせ 現在、発車後に1番線は平均1分遅れ、2番線はほぼ定刻



駅を出発する路線バスの運行情報を出発時間順に表示します。また、日本語と英語表記の切り替えやバスのりば案内図を切り替えて表示します。



神奈中バスロケーションシステムとは、無線通信やGPSなどを利用してバスの位置情報を収集することにより、バスの定時運行の調整等に役立てるシステムです。神奈川中央交通(株)では、路線バスの利用者に向けて、バスの接近や到着予測時刻情報を携帯電話やインターネットにおいて確認することができるサービスを提供しています。

【施策12】 バスロケーションシステムの機能向上

【施策12】 バスロケーションシステムの機能向上	実施状況の 検証	指標	システムの改善有無
		実施状況	システム改善なし
	モニタリング 指標の変化	指標	バスロケーションシステムのアクセス数
		基準値	2,921人/日
		実績値	アクセス数： 18,196人/日(対前年3,348人増/日)
	評価	<p>平成25年3月にシステム改善が実施され、スマートフォンの普及とともに、着実にアクセス件数が増加している。</p> <p>今後も、通信環境の技術の進歩にあわせ、システム改善等による機能向上に努めるとともに、バス相互の乗継ぎの円滑化を図るため、より効果的な情報提供方法の検討を期待する。</p>	

【施策12】 バスロケーションシステムの機能向上 参考資料

MM(モビリティマネジメント)の推進にあたり、バスロケーションシステムの有用性を記載したチラシを作成し、市内を走るバスへの掲示や各種イベント等で配布した。



バスロケ、かなり使えます。

「普段は車だけど、健康のためにバスで会社に行ってみようかな。でも、時刻表がわからないし、バス停でずっと待っているのも…」

こんなこと、ありませんか？確かに、道路の状況によってはバスの到着時間が変わったりしますよね。

例えば、神奈川中央交通(株)では、スマートフォン(携帯電話)やパソコンから確認できるバスロケーションシステムで、バスの**接近情報**^{※1}や**時刻表**をお知らせしています。

皆さんが、少しずつ公共交通を利用していただければ、公共交通の使い勝手や道路環境はもっと良くなっていくかもしれません。

ちょっとしたお出かけや買い物の際など、クルマ利用のほかにも自転車や公共交通などの活用を考えてみませんか？

神奈中バスロケーションの主な機能

🚌 バスの接近情報を調べる

この停留所に、バスはあと何分で来るの？
乗りたいバスは今どこまで来てるの？

🚶 小田急線との乗継を調べる^{※2}

新宿に行く場合、何分の電車に乗れるのかな？

No. 車両番号で到着時間を調べる^{※3}

このバス、あと何分で目的地につくのかしら？

すべてわかります！



相模原市が運行委託をしている
コミュニティバスも確認できます

アクセスは
こちらから



神奈中バスロケーション

URL : <http://real.kanachu.jp/>



- ※1 停留所への到着予想時間やバスの位置などの運行状況をお知らせするものです。始発停留所では発車予定時刻を案内しています。
- ※2 乗継検索が可能な路線は小田急線のみとなります。
- ※3 スマートフォンのみの機能になります。

【施策20】 ICカード乗車券の普及・利用促進

【施策20】 ICカード 乗車券の 普及・利用 促進	実施状況の 検証	指標	普及に向けた取組実施回数
		実施状況	バス車内において、啓発ポスターの掲示等を通年で実施した。
	モニタリング 指標の変化	指標	現金支払い者とICカード乗車券利用者の比率
		基準値	71.18%
		実績値	IC利用者率:85.99%(対前年4.1%増)
	評価	<p>平成27年度も、バス車内ポスター掲示やホームページによる継続的な周知により、IC利用者率の増加に寄与していると認められる。</p> <p>ICカードの普及によって、円滑な運賃収受が行われ、定時性・速達性の確保や乗り継ぎ割引の適用範囲の拡大に繋がることから、引き続きICカードの普及・促進に努めること。</p>	

平成27年度のICカードの利用比率(IC利用者/(IC利用者+現金利用者))

【施策20】 ICカード乗車券の普及・利用促進 参考資料

【ポスターの例】

バス利用特典サービス「バス特」

「バス利用特典サービス(バス特)」とは、「PASMO」「Suica」で「バス特」を適用する各社の対象バスを利用すると、その利用額に応じて「バスポイント」が付与され、一定の累計ポイントごとに自動的にバスの運賃支払いに利用できる「特典バスチケット」がもらえるサービス。

**2013年3月23日(土)から
交通系 IC カード全国相互利用サービス開始**

お持ちの PASMO、Suica のほか新たに Kitaca、manaca、TOICA、PiTaPa、ICOCA、はやかけん、nimoca、SUGOCA が当社バスでご利用いただけます。

交通系 IC カードを当社バスでご利用いただく際のサービス内容は下記の通りです。

S F 利 用										
S F チ ャ ー ジ										
S F 残 額 表 示										
バス利用特典サービス(バス特)										
IC-日フリー乗車券										

※上記の交通系 IC カードであっても、一部の交通系 IC カード(地方自治体が発行する福祉乗車券や割引カード等)には、当社の機器で使用できないカードがあります。

このマークは、交通系 IC カード全国相互利用のシンボルマークです。

【お問い合わせ先】 神奈川中央交通株式会社 バス案内センター TEL 0463-22-8833
(平日 9:00 ~ 17:25 まで)

※「Suica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。 ※「PASMO」は、株式会社バスモの登録商標です。 ※「Kitaca」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。 ※「manaca」は、株式会社京浜東北交通株式会社の登録商標です。 ※「TOICA」は、株式会社東武交通株式会社の登録商標です。 ※「PiTaPa」は、株式会社東武交通株式会社の登録商標です。 ※「ICOCA」は、西日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。 ※「はやかけん」は、福岡市交通局の登録商標です。 ※「nimoca」は、西日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。 ※「SUGOCA」は、福岡市交通局の登録商標です。 ※「IC-日フリー乗車券」は、神奈川中央交通株式会社の登録商標です。 ※「バス利用特典サービス(バス特)」は、神奈川中央交通株式会社の登録商標です。

【施策13】 乗り継ぎ割引の設定

【施策13】 乗り継ぎ割引の設定	実施状況の 検証	指標	乗り継ぎ割引の新規設定箇所数
		実施状況	新規設定箇所なし
	モニタリング 指標の変化	指標	割引設定箇所における乗継ぎ利用者数
		基準値	2,921人/日
		実績値	利用者数：101,810人(対前年1,713人増) うちIC割引101,350人(対前年1,741人増)
	評価	<p>平成26年4月から田名バスターミナルにおけるICカード利用者に対する乗り継ぎ割引の適用が導入され、割引利用者数が大幅に増加した。</p> <p>ICカードの普及率もかなり高まっており、ICカードでの乗継ぎ割引の適用は、利用者の利便性向上に大きく寄与し、乗務員負担も軽減が図られることから、他の乗継ぎポイントでもICカードによる割引適用を実施するとともに、新規設定箇所の選定について検討を期待する。</p>	

【施策13】 乗り継ぎ割引の設定 参考資料

平成15年のバス路線の再編により、乗り継ぎが発生した路線について、乗り継ぎ負担の軽減を図るため、平成20年11月1日から乗り継ぎ割引が実施された。

実施方法は、乗り継ぎ割引の対象系統・乗り継ぎポイントとなるバス停を定め、1台目のバス降車時に運転手に申し出て「乗り継ぎ乗車証」をもらい(通常運賃を支払い)、2台目のバス降車時に「乗り継ぎ乗車証」を提出して、割引かれた運賃を支払うもの。

田名バスターミナルでのバス乗り継ぎ割引

田名バスターミナルで1時間以内にバスを乗り継ぐ場合は、Suica(スイカ)・PASMO(パスモ)使用時に限り、乗り継いだバスでの支払時に一律100円(小児・障害者は50円)が割り引きされる。

相模原市内の一部のバス路線で平成20年11月1日から
乗り継ぎ割引を実施しています。

※この割引は平成15年12月に実施した路線再編にともなう乗り継ぎ負担の軽減を目的としております。

毎度、神奈中・神奈交バスをご利用いただき、誠にありがとうございます。
平成20年11月1日(土)より、相模原市内の一部のバス路線で「乗り継ぎ割引」を実施しております。
ご利用方法、対象となる「乗り継ぎバス停」、および「乗り継ぎ割引適用系統と区間」は以下の通りとなります。

乗り継ぎ対象バス停

- ① 原 当 麻 駅
- ② 北 里 大 学
- ③ 光が丘一丁目
- ④ 上 溝
- ⑤ 小田急相模原駅
- ⑥ 相武台前駅

乗り継ぎ対象となる系統および区間は次ページ以降をご参照下さい。

乗り継ぎ割り引き金額

乗り継ぎ後のバスにて、運賃支払時に割引いたします。
割引対象は「現金」「回数券」「ICカード(PASMO・Suicaのみ)」となります。※定期券・かなちゃん手形等による乗り継ぎは対象となりません。
※定期券・環境定期券・かなちゃん手形・ちびっこ50円・敬老の日100円は割引対象外です。

大人	100円引き(深夜バス 200円引き)
小児	50円引き(深夜バス 100円引き)
大人障がい者	50円引き(深夜バス 100円引き)
小児障がい者	30円引き(深夜バス 50円引き)

ICカードをご利用のお客様は、
乗務員の機器操作後に
タッチをお願いします。

ご利用方法

乗り継ぎバス停で降車の際、乗務員にお申し出ください。乗り継ぎ乗車証を発行いたします。
乗り継ぎ乗車証は乗り継ぎ後のバスでの運賃支払の際、乗務員が回収いたします。

【施策22】 バス利用者マナーの啓発

【施策22】 バス利用者マナーの啓発	実施状況の 検証	指標	啓発活動実施回数
		実施状況	バス車内において、啓発ポスターの掲示等を通年で実施した。
	モニタリ ング 指標の 変化	指標	運転士へのアンケート調査 (マナーが悪いことへの対応に負担を感じる運転士数)
		基準値	H19年調査 16件(回答者数113人)
		実績値	H27年アンケート調査(回答者数173人) お客様の対応に負担を感じる:118件 うちマナーが悪いこと:16件
	評価	<p>負担を感じる要因の主なものとして、マナーが悪い:16件、イヤホン・携帯操作等:23件、運賃收受操作:8件などが挙げられ、平成19年度に比べ、マナーが良くなったと答えた方は、全体の12%に留まる一方、変わらないもしくは悪くなったと答えた方は、81%に上った。</p> <p>事業者と行政が連携し、より一層のマナー啓発を実施し、利用者が気持ちよくバスに乗車できる環境の整備に向けて取り組むこと。</p>	

【施策22】 バス利用者マナーの啓発 参考資料

乗務員アンケート結果概要

調査期間

平成27年6月15日(月)～28日(日)

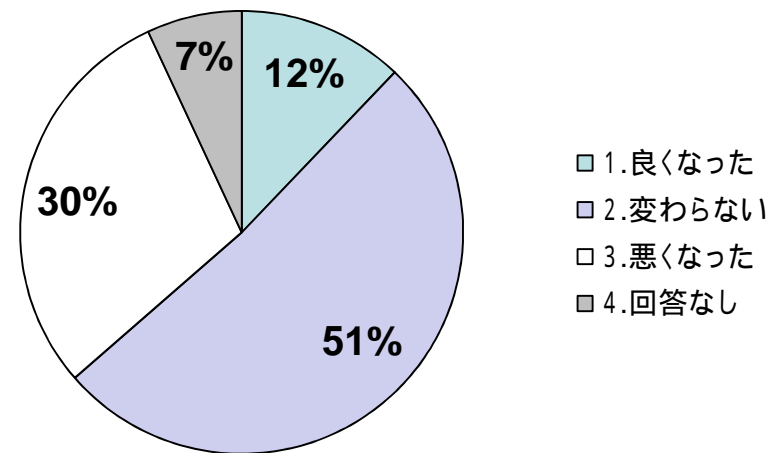
対象者

市内の3営業所に所属する運転士

神奈川中央交通(株)	相模原営業所	180人
(株)相模神奈交バス	相模原営業所	165人
(株)津久井神奈交バス	津久井営業所	115人

回答数 173人

利用者マナーの平成19年頃からの変化



マナーが悪いと答えた方(16件)のうち、意見が多かったもの

ゴミの放置・ポイ捨て・・・8件

・車内へのゴミの放置、座席を汚すこと。放置した空き缶が転がることなど

大声でお喋りする・・・3件

・大きい声で話をする、携帯電話の使用、大音量によるイヤホンの音漏れなど

高校生のマナー・・・2件

・一部の高校生のマナーが特に悪く、登下校時のダイヤが精神的に負担

【施策24】 啓発講座等の実施

【施策24】 啓発講座 等の実施	実施状況の 検証	指標	啓発活動実施回数
		実施状況	バス事業者と協力し、大野北地区において、児童及びその保護者を対象としたバス乗り方教室を開催した
	モニタリング 指標の変化	指標	利用方法、運行意義の理解度
		基準値	アンケートの実施
		実績値	乗り方教室参加者(73人)を対象として、 1家族1票(44票)回収 理解度:とても役に立った・役に立った 50.0% 今までより利用する 51.2%
	評価	乗り方教室等の実施により、利用方法の周知やバス利用意識を高めることができた。引き続き、他地区でも施策を展開する等、継続的な啓発活動に取り組むこと。	

【施策24】 啓発講座等の実施 参考資料

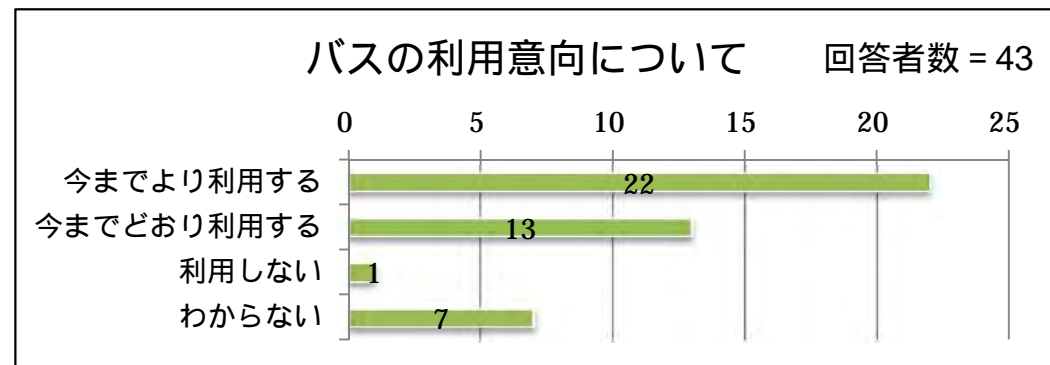
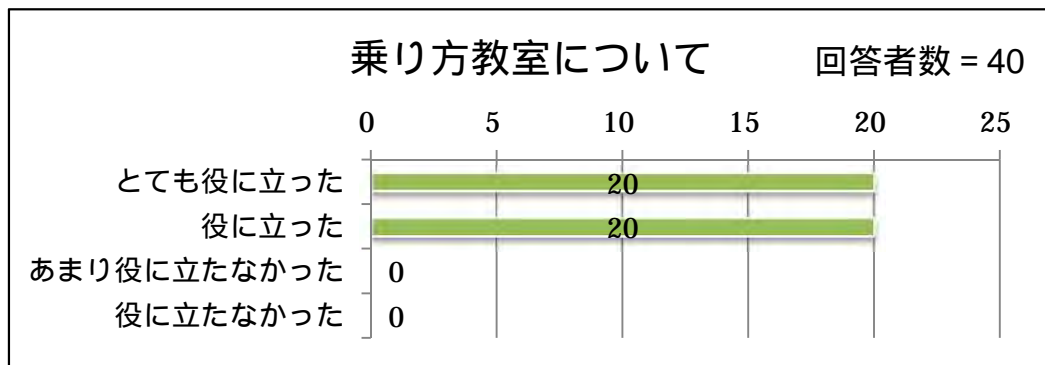
平成27年9月13日 バス乗り方教室の実施



参考
 湍野辺駅のバス乗降人員
 平成26年度 約291万人/年
 平成27年度 約318万人/年
 ……約27万人の増加

路線バスの乗り方や車内マナーに関する説明を通じて、路線バスを身近に感じてもらうとともに、公共交通の役割・必要性について考えてもらうことを目的とした、モビリティ・マネジメント推進事業の一環として実施した。(73の方が参加)

アンケート結果の例



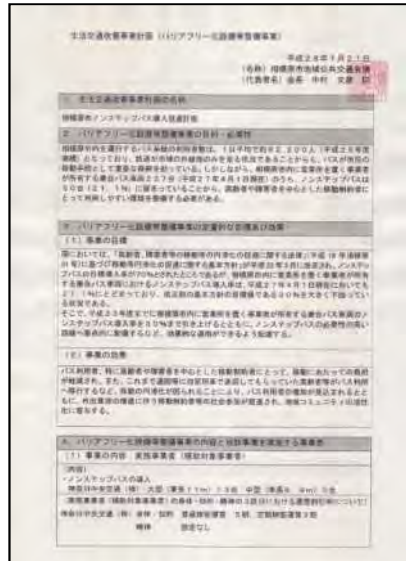
【施策28】 ノンステップバスの導入

【施策28】 ノンステップ バスの導入	実施状況の 検証	指標	ノンステップバスの導入の有無
		実施状況	市内の営業所において、ノンステップバス16台が導入された。
	モニタリング 指標の変化	指標	ノンステップバス導入台数
		基準値	
		実績値	16台導入 (ワンステップバス ノンステップバス12台、 ノンステップバス ノンステップバス4台) 平成28年3月31日現在の導入率 62台 / 236台 (26.3%)
	評価	生活交通改善事業計画において、国及び市の補助制度を活用し、16台の導入計画を実施した。導入率が大幅に増加し、成果指標として定めた目標値である30.0%に早期に達する見込みがあることから、目標値を上方修正し、より一層の導入促進に取り組むこと。	

【施策28】 ノンステップバスの導入 参考資料

【生活交通改善事業計画】

交通事業者が、国の補助制度を活用し、ノンステップバスを購入するにあたり、相模原市におけるノンステップバスの導入促進計画を地域公共交通会議において策定するもの。



時 点	ノンステップバス車両数	全車両数	割合
H24.4.1	34	251	13.5%
H25.4.1	40	235	17.0%
H26.4.1	43	237	18.1%
H27.4.1	50	237	21.1%
H28.4.1	62	236	26.3%

ノンステップバス …… 出入り口の段差を解消して乗降性を高めた低床バス



平成28年4月1日現在の市内各営業所の導入状況

ノンステップバス 62台
 総車両台数 236台
 導入率 26.3%

平成28年度導入予定台数8台